

教育研究評議会議事録（第151回）

日 時：平成28年11月24日（木）13時00分～15時00分

場 所：事務局2階 第一会議室

出席者：岩渕、小川、丸山、菅原、大藤、吉川、八代、喜多、横山、遠藤、船崎、高畑、比屋根、開、
白倉、宮本、菊地、藤代、吉澤、海田、武田、倉島、御領

欠席者：上村、宇佐美、田代

配付資料

1. (回収資料) 学生の懲戒について
2. 総合科学研究科の設置に関する規則改正に係る検討スケジュールについて
3. 国立大学法人岩手大学教育研究評議会規則改正案
4. 岩手大学大学院総合科学研究科設置準備委員会規則の一部改正案
5. 平成29年度岩手大学推薦入試Iの出願状況
6. 平成27年度に係る業務の実績に関する評価の結果について
7. 役員会報告について
8. 学長・副学長会議報告について
9. 全学FD・SD研修「高大接続改革について考える」

学長から、会議に入る前に、前回の議事録（配布した第150回記録案）の赤字部分について一部修正したい旨が述べられ修正内容の提案があり、原案どおり修正することが了承された。なお、再度総務広報課から委員に修正した記録案を送付・確認してもらうこととした。

議 題

1. 学生の懲戒について

学長から、学生の懲戒処分について諮る旨が述べられた。

次いで、人文社会科学部長から資料1（回収資料）に基づき、事件の概要と、未だ検察の処分が未定であるが、大学として学生の本分に反したことに対する処分を決定すべきと考え処分案を決定した経緯について説明があった。

審議の結果、原案のとおり当該学生の謹慎期間中の指導方針を含め、無期停学処分とすることが了承され、学長から、本日付けで処分する旨が述べられた。

2. 総合科学研究科の設置に関する規則改正に係る検討スケジュールについて

小川理事から、総合科学研究科の設置に伴い、各部局に必要な規則改正について検討を依頼したい旨の提案があった。次いで、戦略企画室特命課長から資料に基づき、研究科の運営体制、必要と思われる規

則の構成案、大学院学則の改正を最低限に抑えるよう大きくくりで作った規則改正案（第一次案）について、修正等の意見がある場合、教育研究評議会審議の必要があるものについては12月14日までに、部局等で決定できるものについては2月末までに総務広報課に報告することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

なお、委員より、11月の総合科学研究科設置準備委員会の審議後に提案した意見がどのように反映されているのか照会があり、後ほどどのように修正等したのか、各委員にお知らせすることとした。

3. 国立大学法人岩手大学教育研究評議会規則の一部改正について

学長から、総合科学研究科設置に伴い教育研究評議会規則の一部改正を行いたい旨が述べられ、次いで小川理事から資料に基づき、構成委員の変更と、適用時期や移行措置等について説明があった。

委員から、評議員からの副学部長の選出方法、学部選出の評議員を3名から1名に減らすことによる学部への影響、評議会の役割等について意見があり、審議の結果、各部局に持ち帰り検討することとした。

4. その他

なし

報 告

1. 岩手大学大学院総合科学研究科設置準備委員会規則の一部改正について

小川理事から、資料に基づき、総合科学研究科の研究科長及び専攻長候補者の選出等に伴う所要の改正について報告があった。

2. 平成29年度岩手大学推薦入試Ⅰの出願状況について

丸山理事から、資料に基づき、11月22日に実施した推薦入試Ⅰの出願状況について報告があった。

また学長から、福島県沖地震の影響で1名の受験生が遅れ別途対応したが、無事に終了したことに対し御礼が述べられた。

3. 平成27年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

小川理事から、資料に基づき、国立大学法人評価委員会から、平成27年度に係る岩手大学の業務の実績に関する評価の結果について通知があり、全ての項目で「順調」の評価結果であったこと、また注目される取組と課題について報告があった。

4. 役員会報告について

学長から、前回の教育研究評議会以降に開催された役員会（第485回）について、資料に基づき報告があった。

5. 学長・副学長会議報告について

学長から、前回の教育研究評議会以降に開催された学長・副学長会議（第64回～第65回）について、資料に基づき以下の報告があった。

- ・平成28年度防災訓練を、12月15日に四丁目地区隊を対象として実施する。
- ・イーハトーヴ基金の寄附者顕彰銘板を作る予定で準備している。また、クレジットカード決済やコンビニ振込が可能になる。
- ・「学長が特に指定する日」を、岩手大学職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する規則第21条第20号に基づき、特別休暇として、当分の間12月28日とする。
- ・国立大学協会通常総会での入試改革の検討状況。
- ・新制中規模国立大学連携コンソーシアムで包括協定を締結する予定でいる。

委員から、世界大学ランキング2016について、本学の順位を上げ海外から留学生の受入増を図るための対応策を検討することについて照会があり、学長から、上位ランキングに入るために、岩手大学としても研究力を向上する等の対応を考えていくことの付言があった。

また、12月8日開催予定の経営協議会で、本学のブランド力の向上について意見を伺う予定であること、各部局でも「ここを強化する」と決めて取り組んでもらいたいことが述べられた。

6. その他

丸山理事から、資料に基づき、12月15日開催予定の「高大接続改革について考える」会を、全学のFD・SD研修として実施するので、多数の方に参加して欲しいことが述べられた。

*次回の教育研究評議会は、12月22日（木）15時00分から開催する予定であることが述べられた。